

だし丸くんレポート ～音楽文化振興事業～

音楽のあるまちづくりを



第3回 吹奏楽の響きin HANDA

【5月7日(土)ワークショップ、8日(日)コンサートを開催】



平成28年度音楽文化振興事業、雁宿ホールでの演奏会の1つ「吹奏楽の響きin HANDA」。7日はワークショップを実施し、市内中学校吹奏楽部員216名が参加しました。午前は、セントラル愛知交響楽団員と金城学院大学の学生から11の楽器に分かれ指導を受けました。プロから楽器の構え方や奏法について丁寧に指導を受け、美しい音色を出せるようになったり楽に出せるようになったりと目に見えて効果が表れていました。顧問の先生も各会場を回り、熱心にメモをとっていました。午後は、セントラル愛知交響楽団名誉指揮者の小松長生先生から直接指導を受けました。学校ごとにステージに立ちコンクール課題曲を演奏しました。講師が隣で演奏をしてくれることや世界的な指揮者から指導を受けることは、子どもたちにとって何よりの経験になったことと思います。他校の演奏を聴く際も、楽譜を見ながら熱心に聴き入っていました。



中高生のみなさん、まもなく開催されるコンクールに向けて思いっきり練習に励んでください！そして市民のみなさん、これからも多くの事業を実施してまいりますのでぜひご参加いただき、心癒される音楽のあるまちづくりを進めていきましょう。今後の事業については、はんだ市報やホームページ、チラシなどで随時ご案内いたします。

高校生の吹奏楽の技術を底上げしていくという趣旨から、今年のコンクール課題曲を4曲、そして多くの市民に楽しんでいただくこととマナーや映画音楽をセントラル愛知交響楽団員と金城学院大学の管楽器専攻生が演奏しました。セントラル愛知交響楽団音楽主幹の山本雅士さんからの楽器紹介も非常に分かりやすく、また迫力がありかつ楽しい演奏に、来場者からは「また来年も聴きたい」「身近な場所でプロの演奏を聴くことができて嬉しい」という感想をいただきました。



ワークショップでは中学生がプロから教えてもらったタシマコンサートでは吹奏楽の響きに酔いしれたタシマ!!

感震ブレーカーの補助対象世帯を拡大しました

大規模地震による出火原因の内、多くを占める“電気に起因する火災”の発生を防ぐため「簡易タイプ」の感震ブレーカーの購入費の一部を補助しています。

補助対象者

- ①火災の延焼拡大の恐れのある地域（ホームページなどで確認できます。）
- ②65歳以上の高齢者のみの世帯※
- ③心身障がい者のいる世帯※
- ④母子家庭などの世帯※

※新たな補助対象世帯

取付けや申請手続きの支援も行っていますのでお問い合わせ下さい



● 問い合わせ 防災交通課 ☎84-0626